

地元部会の開催実績

平成26年3月25日
薩摩川内市

去る1月10日(金)に次世代エネルギービジョン推進会議第4回地元部会(以下「地元部会」)、2月20日(木)に第5回地元部会が開催されたところ、その概要は以下のとおり。

【ポイント】

1. 第4回地元部会(1月10日(金))

- (1) 市民との対話やこれまでの普及啓発事業等を通じて得られた成果や課題を振り返り、特に市民を対象とした効率的かつ効果的な对外広報のあり方や進め方等について議論をいただいた。
- (2) 具体的事業の進捗状況、来年度予算案、更には国のエネルギー政策の議論の動向等について出席者間の情報共有を図った。

2. 第5回作業部会(2月20日(木))

- (1) 交流人口の拡大を目的に、特に、本市の地域特性や地域資源を活用した産業観光のあり方等について議論をいただいた。
- (2) 具体的事業の進捗状況、更には国のエネルギー政策の議論の動向等について出席者間の情報共有を図った。

1. 第4回地元部会

(1) 主な議事

- ① 現在の事業の概要
- ② 地区コミュニティ協議会との意見交換で頂いた意見と今後の対応
- ③ ポリテクカレッジ川内での出前授業を踏まえた学生の声
- ④ 広報のあり方・進め方について

(2) 委員からの主なコメント

① 現在の事業の概要等について

- (ア) 人はなかなか文字を読まないなので、テレビ等を活用してイベントなどを映像で見せるとよい。
- (イ) 市民に施策と自分の生活とのつながりを理解させ、自分のこととして捉えられるよう伝えていくことが必要。

(ウ) エネルギーを作る方と使う方、一人でも多く関わっていけるような政策をもっと展開していくことが大事。

② 広報のあり方・進め方について

(現在の問題点や今後進めていったら良いこと等について)

(ア) 事業を実施する際、年代や家族層、女性など、ターゲットを絞って細かく展開していくと、中身が濃くなり市民にも受け入れられやすくなる。

(イ) 政策を伝えていく上では、これをするとどうなるかということを、インパクトのある形で伝えていくことが大切。

(ウ) 小学校の教科書のエネルギーの部分を充実させて、エネルギーのまちということ伝えていくことが大事で、子どもたちの理解を深めていくことが必要。

(エ) 展開においては、色々なものを組み合わせてやっていくべき。コミュニティ、企業、家庭という3つのキーワードがあり、それぞれに工夫が必要。

(オ) 今回作成した普及啓発のブックレットに関し、専門に依頼していることもあり上手くいっているので、今後のスマートハウスにおいても、専門にお願いしてはどうか。

(カ) 小中学生の遠足等でエネルギー施設を見せる機会があると大きなインパクトを受けるので、授業の一環としてできるよう教育委員会に働きかけてはどうか。

(キ) 地区コミュニティ協議会等を出ている意見などの情報を集約し、市民活動ポータルサイトにアップするのも広報の一つの手法になるのではないか。

2. 第5回地元部会

(1) 主な議事

- ① 現在の事業の概要
- ② 平成25年度観光・シティセールスの取り組み
- ③ 次世代エネルギーを活用した産業観光の推進

(2) 委員からの主なコメント

- ① 現在の事業の概要等について
特に意見等なし

- ② 次世代エネルギーを活用した産業観光の推進について

(来街者や市民等が喜べる、楽しめるルート案について)

(ア) 各地域等でのおもてなし、触れ合い、癒し等は、とても気持ちがよく、また行きたいと感じる。

(イ) そこに行くと、ワクワク感、のんびり感、ゆったり感など、そこにしかない雰囲気があり、そこに行ったことに価値があることが大事ではないか。

(ウ) もう一度行きたくなるには感動することが必要であるが、男女や年代によっても違う。ターゲット別に整理し、ここにしかないというものがあるとよい。

- (エ) 何度も行きたいと思うところは、日常にない景色や体験などで、お金を出してでも行きたいとなると、別荘地があるのではないか。
- (オ) (ディズニーランドのような)建物、乗物、サービス等も含め、心地よい空間でゆったりした気持ちになれる一方、メリハリがありパーフェクトに管理されている所にはまた行きたくなる。
- (カ) 再生可能エネルギーに興味を持っている人は自然に興味があるので、甕島で海等との触れ合いとのんびり感を味わってもらうのもよいのではないか。
- (キ) 川内港発着所については期待しており、鮮魚等の特産品販売や駐車場の整備など、人が集まる仕掛けをしていかなければならない。
- (ク) 薩摩川内市には、良い素材があるのに活かされていない。神話の里、竜宮伝説を活かしたプランを進めてはどうか。これにエネルギーに関するルートを結び付け、エコカーで回ってはどうか。
- (ケ) 甕島の島民との交流等を通じて生活等に触れると、興味がわき再度行ってみたくないのでないか。
- (コ) 佐賀県唐津市はイカの活き作りが有名であるが、真似をしてでもよいので、食のロードをつくってはどうか。

以上